

【テーマ3】最適な財産管理により、府民サービスの基盤の維持向上を図る

めざす方向

◎財産の適正管理により行政運営を支えます。

公共施設等の最適な経営管理（ファシリティマネジメント）の推進

| <今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）> | <何をどのような状態にするか（目標）> | <進捗状況（R2.3月末時点）> |
|--|--|---|
| <p>■公共施設等の最適な経営管理（ファシリティマネジメント）の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 『大阪府ファシリティマネジメント基本方針』に基づき、公共施設等の長寿命化と総量最適化・有効活用を図る。 <p>【長寿命化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中長期保全計画(案)を策定した延床面積 1 千㎡以上の建物約 950 棟について、緊急度の高いものから順次、改修等を実施できるよう、施設所管部局等との調整を行う。 延床面積 1 千㎡未満の建物について、劣化状況の調査等を実施する。これにより、今後の維持管理等に要する中長期的な経費見込みを把握する。（全約 4 千棟を 6 年間で順次実施予定。） <p>【総量最適化・有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築後 25 年目・50 年目を迎える施設等に加え、元～3 年度で 1 千㎡未満の施設について、将来の施設の活用方針を検討する。 <p>（スケジュール）</p> <p>【長寿命化（延床面積 1 千㎡以上）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 元年 5 月～ 施設所管部局等との調整 1 1 月～ 施設所管部局が予算要求 <p>【長寿命化（延床面積 1 千㎡未満）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 31 年 4 月～ 調査方法等を考案 令和 元年 7 月～ 調査 9 月～ 中長期保全計画(案)を策定 2 年 3 月～ 中長期的な経費とりまとめ | <p>◇活動指標（アウトプット）</p> <p>【長寿命化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 延床面積 1 千㎡以上の建物について、今後の設計・工事等の執行体制を調整の上、予算調整を行う。 延床面積 1 千㎡未満の建物について、膨大な数の対象建物の劣化状況及び経費見込みを計画期間内(6 年間)で把握しきるための調査法を考案し、今年度は約 700 棟(約 4 千棟/6 年)について調査を実施するとともに、順次、既に実施済の建物の見込みと合わせて公共施設等全体の中長期保全計画(案)をとりまとめる。 <p>▷</p> <p>【総量最適化・有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築後 25 年目・50 年目を迎える施設等については、37 施設で有効活用度等を点検する。 追加で実施する 1 千㎡未満の施設(約 1,500 施設)については、点検手法等を検討のうえ、有効活用度等を点検する。 <p>◇成果指標（アウトカム）</p> <p>（定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防保全の着実な実施及び総量最適化・有効活用の点検により、計画的に維持・更新(建替)経費の軽減・平準化の推進を図る。 | <p>◇活動指標（アウトプット）</p> <p>【長寿命化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 延床面積 1 千㎡以上の建物について、今後の設計・工事等の執行体制を関係部局と調整し、体制の増強が図られた。 また、予算においては「劣化度判定 d (※)」の早期解消に向けた予算措置を行った。（※ 劣化度判定 d : 緊急修繕が必要） 延床面積 1 千㎡未満の建物について、新たな調査手法を考案し、約 4,000 棟のうち 1800 棟の調査と中長期保全計画(案)の策定ができた。 <p>▶</p> <p>【総量最適化・有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築後 25 年目・50 年目を迎える施設等については、37 施設について、劣化度や有効活用度等を点検し、維持・建替え・有効活用など将来の活用方針について、とりまとめた。 点検手法等を検討のうえ抽出した 1 千㎡未満の 24 施設についても、有効活用度等を点検した。 <p>◇成果指標（アウトカム）</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防保全の着実な実施及び総量最適化・有効活用の点検により、計画的に維持・更新(建替)経費の軽減・平準化の推進に取組んだ。 |

| <p>【総量最適化・有効活用】 令和 元年 5月～ 総量最適化・有効活用に関する施設点検 9月 点検結果の中間とりまとめ 2年 2月 点検結果のとりまとめ</p> | | |
|--|---|---|
| <p><今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）></p> | <p><何をどのような状態にするか（目標）></p> | <p><進捗状況（R2.3月末時点）></p> |
| <p>■府有財産の処分の推進 ・府有財産の売却による収入の確保。</p> | <p>▷</p> <p>◇活動指標（アウトプット） ・不要財産を早期に整理し、売却手続（入札等）を推進。</p> <p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標） ・平成 31 年度当初予算計上額（10 億円）を大きく上回る収入を確保。</p> | <p>▶</p> <p>・一般競争入札等を通じ、31 年度当初予算計上額を大きく上回る約 27.6 億円の売却収入を確保した。</p> |